

科目の種類	選択必修	科目名	地 理 B	学 年	2 年	単 位 数	3
コ ー ス	特進コース						
教 科 書	帝国書院 「新詳 地理B」, 帝国書院「新詳高等地図」						
副 教 材	帝国書院「図説地理資料 世界の諸地域 2010年」						
<b>科目のねらい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間生活と自然環境のかかわりを考察し、多様な世界の姿とそのなりたちについての考察を深めます。</li> <li>・ 日本と世界各地の結びつきを学び、現代社会の姿を構造的に理解することで、国際社会の一員としての資質を身につけます。</li> <li>・ 平面的に覚えるのではなく、関連づけを行うなど思考力を高めるように展開して、大学入学試験に対応できる能力を養います。</li> </ul> <p>具体的には</p> <p>人間生活の舞台となる地球について、地域ごとに生じる自然環境の特色を要因や分布を通して理解できるようにします。</p> <p>資源の分布をもとに産業の発達や変化を、地域の特色と照らし合わせて考えられるようにします。</p> <p>人間生活や文化の地域的な特色を、異文化の理解を通して考えられるようにします。</p> <p>いろいろな地図の特色を理解し、必要な場面で自ら活用できるようにします。</p>							
<b>授業の進め方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義形式の授業が中心となります。</li> <li>・ 地図帳・図版などを活用し、内容に応じて、作業課題を行います。</li> <li>・ 単元終了ごとに確認のための小テストを行います。</li> <li>・ 必要に応じて家庭学習の課題を義務付けます。</li> </ul>							
<b>より良く学習を進めるためのアドバイス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な地理用語は言葉を暗記するのではなく、内容をふまえてきちんと理解するように心がけましょう。</li> <li>・ 地名は地図を活用して、その位置関係も含めて確認しておきましょう。</li> <li>・ 思考中心の学習を進めるために、常に「なぜ?」「どうして?」という視点とそれを解決する方法を探るよう努めましょう。</li> <li>・ 自分で学習を進めるためには、自分自身が使いやすいノートを作成することが重要です。配布されたプリントを貼付する、用語の解説や説明を書き込むなどの工夫をしてみましょう。</li> <li>・ ノート作成用に、黒以外に赤・青を含めて3色の筆記用具や色鉛筆を用意するといいでしょう。</li> </ul>							
<b>評価方法</b> <p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平均点が50点～60点になるように想定して問題を作成します。</li> <li>・ 基本的内容を確認する問題と、受験学力を試すための応用的発展問題を織り交ぜて出題します。</li> <li>・ 図やグラフ、写真から読み取る力が重要となります。</li> <li>・ 簡単な計算を必要とする出題もあります。</li> </ul> <p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験の得点を評価の中心とし、授業参加の姿勢や提出物などとあわせて評価をします。</li> <li>・ 授業内に課したワークシートの取り組みや、内容を評価に加えます。</li> <li>・ 単元ごとの小テストや授業中の演習の成績も評価します。</li> <li>・ 定期試験ごとにノートの作成・活用状況を確認して評価に加えます。</li> </ul>							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	1. 地球と世界の基本事項 2. 地図の活用 地図の分類 さまざまな世界地図 3. 世界の地形環境 世界の大地形と内的営力 外的営力と小地形  地形図の利用	生活の舞台となる地球についての基本的知識、緯度や経度の決め方や時差の考え方を理解します。 地図の種類と使い方に応じた選択方法を学びます。 地図投影法と地図の特色を整理します。  大陸や山脈の形成とプレートテクトニクスを理解します。 侵食・運搬・堆積という3つの作用が作り出す地形と人間生活の関わりを整理します。 地形図に記載される内容を理解し、等高線と地図記号から「地形図を読む」ことができるようにします。
	第 1 回	定 期 考 査
後期	4. 気候と生活 気候のなりたち  世界の気候区分 熱帯地域の環境と生活 乾燥帯地域の環境と生活 温帯地域の環境と生活 冷帯・寒帯地域の環境と生活 植生と土壌	気候とは何か、気候要素を把握してその変化の要因を考えられるようにします。 気候区分の考え方を学び、ケッペンの気候区分を理解します。 熱帯雨林とサバナの気候区の特色と生活を理解してきます。 乾燥する理由を学び、砂漠とステップの生活を考えます。 温帯地域の広がり、地域ごとの文化の形成を考えます。 寒冷な気候と人々の生活のつながりを考えます。 気候が植生や土壌におよぼす影響と、局地的に分布する土壌の特色を学習します。
	第 2 回	定 期 考 査
後期	5. 世界の水環境 6. 日本の自然の特色  7. 農産物の生産と流通 世界の農業  農産物の流通  日本の農業と特質	海洋と陸水の分布、構成比、特徴をまとめます。 日本列島の成因と地域の特色についてを確認し、地域による差異を学び、生活に与える影響を考えます。  自然条件、社会条件と農業形態の関わりを学び、農業地域区分を理解します。 農産物の貿易の特徴と、国際化と情報化にともなう問題点などを考えます。 日本の農業構造について、諸外国と比較しながら考え、その特徴を理解します。
	第 3 回	定 期 考 査
	8. 水産業と林業  9. 資源の生産と消費 資源・エネルギーの分布 資源の利用と問題点	第一次産業としての水産業と林業について、その特徴を学び、国による産業の差を研究します。  エネルギー、鉱産資源の分布と利用上の問題点を考えます。 エネルギー資源の使い方の変化と、問題点を考えます。
第 4 回	定 期 考 査	
後期	10. 工業製品の生産と流通 工業の発達と文化 工業の立地と変化 世界の工業地域 11. 村落と都市 集落の成り立ち 都市の機能と生活	工業の特徴と発達、種類を整理します。 工業の立地条件と変化の様子を学びます。 世界の工業生産の様子から、地域ごとの特色を整理します。  集落の成立する条件や、発達の歴史を学びます。 都市の発達と分布、内部における機能の分化を整理します。
	学 年	末 考 査

